



# 北高夢ロード通信

第11号 (2022.7)

## 豊北図書室が豊北図書館に

会長 波多野宏之

本誌第9号で記しました、豊北図書室の問題。下関市立豊北中学校内に置かれている、公共図書館としての豊北図書室に複写機が設置されていないという問題——。ようやく、本年6月市議会で下関市図書館条例の改定により、従来の豊北図書室を豊北図書館として同条例に位置付け、著作権法で認められている利用者による資料の複製ができることになりました。

実態として公共図書館であるにもかかわらず、コピーサービスが受けられない現状を糺した市長あての手紙に対し、「学校図書館法による学校図書館の地域開放として運営して」おり、「著作権者の承諾なしに複写サービスを行うことができないため」「複写機を設置して」いない、という市長名の回答がありました。

実際には、中学校の建物の中に、学校図書館と並んで豊北図書室は別にあるのです。詳細は省きますが、こうした実態を伝えて、本会会員であるもある市議さんたちのご尽力により、今回の図書館条例改定に至ったわけです。6月10日の下関市議会文教厚生委員会のライブ中継を見た限りでは、市当局は、豊北図書室の実態がわかったから条例を改正する、と淡々として述べていましたが、市側が実態を「誤認」していたとは、到底思えず、何らかの意図により正しい位置づけを行わず、いったん決まった行政上の位置づけを代々の担当者が追認してき

ただけに思われます。市周辺部の図書室の現実が等閑視されている現状は、委員会の質疑で答弁に立った市立図書館長が、豊北図書室に目録検索機が設置されているかの質問に即答できなかった一事によってもうかがわれます。

ともあれ、7月1日より、コピーサービスが受けられるようになったことは大変喜ばしいことです。地域の文化拠点として今後とも要求すべきことは要求していかなばなりません。これまでも図書室の立地が滝部の中心部を離れた丘の上にあり、ただでさえ分かりにくいのに交通標識は、豊北中学校とだけ表示されて、豊北図書室の表示は途中に一切ない、という現実がどう変わるか見ものです。

ところで、下関北高への志望者が激減しているという大問題——。今年度総会では、事業計画に「学校[下関北高]の魅力を増進するための方策について、広く論議する場を設ける。」を加え、総会後の討議でも現状報告と問題提起をもとに意見交換を行いました。(p.4 参照)

その後、高校との協議も進めており、同校の特色の一つである相撲部(p.8 参照)を盛り立てるために側面から協力し、新たな学習支援の提案もしているところです。県教委の示す方向性[統合、分校化、閉校]などの厳しい現実も念頭に、高校と地域が一体となって、他校にはない魅力を創出し、志願者増に取り組みねばなりません。卒業生、関係者の皆様におかれても、ご意見、ご提案等お寄せくださいますよう。

## 〈ギャラリー夢ロード〉第15回展 北高 地域探究授業 写真展の教訓

5月19日～29日の間、北高地域探究授業写真展を開催した。期間は実質12日間、来館者は92人であった。1日平均7.7人の入館者があったことなる。大小62点の写真はパソコンで出力したものであるが、実はこの作業が一番たいへんだった。

まず、テーマに添った約六百枚の中から使えるものだけを選び、それを年度別、種類別に分け、さらに組み写真として秀逸なものを絞り込み、画像調整（トリミング、コントラスト、アンシャープマスク処理）をかけて印刷した。

展示写真は評判が良かったということだが、作業に疲れて実感はない。



↑粘土製作道具  
←室内レイアウト

展示9日目の5月26日(木)には地域探究授業をギャラリー内で行い、生徒8人と先生3人に過去の取り組みについて説明した。生徒たちは楽しんでくれたと思う。

アオノリの実験装置も展示したが、興味を示したのは長周新聞だけであった。しかし、記事になることで北高のユニークな活動が一般に宣伝されるのは喜ばしいと評価したい。

今後も新聞取材を念頭に企画すべきである。

展示期間終了後は神田特牛にある生涯学習センターで約1カ月展示し、現在は豊北中学校で7月7日から巡回展示している。写真を見た中学生が、北高は楽しそうな高校だと進学を決

めてくれば、これまでの苦勞が報われるのだかと、しきりに思う。



北高地域探究写真展の巡回展示  
(豊北中学校)

### 活動費助成金獲得に奔走

今回の写真展は補助金を受けた2019年と2021年の活動が中心となった。写真で連想されるほど単純な探究授業はなく七転八倒の五年間だったと記憶する。ネックは経費が補助金頼みになっていることである。今年もその助成金獲得のため6月24日(金)市民活動助成金審査会に岡崎氏が出席している。審査委員から下関市へ檄が飛ばされた(旧郡部高校への積極的支援を促す意見があった。)と聞いた。

図らずも7月7日に下関市から助成金交付の内示の連絡があったという。これは写真展開催以前の問題だが、これからの活動を鑑み喫緊の課題であるので提示する。

### '22年度も21回の授業予定

今年もすでに5月から授業は始まっている。  
①ホテル観察会②河川の水生昆虫観察③帰化植物観察④オケ瀬の急流探究⑤教室でオリジナル物語発表⑥鬼の岩周辺探索と続き、最終の21回目は来年2月の予定である。

このところ生徒の反応もよく、先生方から「レポートに飛躍的な進歩が見られる」と評価は高いが、五年後、写真展を無理なく開催するつもりなら、思いつきでなく計画的に記録を取っておく必要があると考えている。

これからの活動に向けて多くの教訓を得た写真展であったと総括する。(文責 藤岡)

## 〈音楽とお話しの夕べ〉に参加して

5月20日（お話し：古屋優）

### ショスタコーヴィッチ交響曲第5番

ショスタコーヴィッチの曲を最後まで聴いたのは今回が初めてかもしれない。チャイコフスキーやラフマニノフは比較的聴く機会が多かったが、この作曲家は少々重くてなかなかじめず敬遠してきたのである。だが、今回は腰を据えて聞くことができた。

第一楽章で美しい弦楽が響いてくる。「あ、いいな」と思う。後半では重厚な音の広がりや厚みが……。ロシアの広大な大地や、深く暗い森が迫ってくるようだ。「戦争と平和」、「ドクトル・ジバゴ」の映像が思い出された。

ショスタコーヴィッチは、交響曲や弦楽四重奏曲が多いようだが、殆ど知らない。この5番はおもしろかった。今回の企画でちゃんと聴けて良かった。彼の他の曲にも挑戦してみようと思う。

5月27日（お話し：白岡勝典）

### Jazz 名演聴き比べ

第1曲 Round about midnight !!

曲がかかる。すぐに「ワーっ♡」と思ってしまった。感受性の鋭い青春真只中の白岡さんが衝撃を受けたと言われたのはもっともなことだろう。音楽を言葉で表現するのはとても難しいのだが、この曲は胸の奥の方へスーッと降りてきて包み込まれていくような感覚（私の場合）。「ジャズ」であるのにうっとりしてしまった。とても素晴らしい演奏だった。

ソファーにゆったり腰をおろし、バーボン片手にレコードを聴く、という贅沢な時間などとても持てないが、今回のこの企画でとても嬉しい時間がいただけたと知っている。

（森田実栄子）

### ■ショスタコーヴィッチ交響曲第5番

ビシュコフ指揮 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団



### ■Jazz 名演聴き比べ

- *Round about midnight*  
セロニアス・モンク  
マッコイ・タイナー  
マイルス・デイビス+ジョン・コルトレーン
- *I remember Clifford* (作曲 ベニー・ゴルソン)  
リー・モーガン  
ウラジミール・シャフラノフ  
バド・パウエル (At the Golden Circle)
- *Somewhere before*  
ボブ・ディラン  
[My back pages in *Another side of Bob Dylan*]  
キース・ジャレット



千葉県在住の画家藤田莞爾さんの分身  
〈ジャワの仮面〉が はがき絵で行事参加

## 2022年度 総会報告

北校夢ロード実行委員会2022年度総会は、4月23日（土）、3年ぶりに対面で実施し、以下のとおり無事終了しました。

出欠はがきは、4月20日（水）締め切りで集計し、会則第12条による総会成立に必要な出席数（正会員数50名のうち25名以上）のところ、当日の出席17名、委任状出席18名、計35名で過半数となり総会成立。恒富英雄氏を議長に選び、1号議案～第4号議案まですべて全員の承認を得ました。

議案承認後、岡崎副会長より「地域の歴史、民俗、自然環境等の調査・研究を通じた学習支援活動」の財源確保の必要性、補助金申請についての発言がありました。

総会後の討議として、永富輝久監事より下関北高校の今後の課題について資料をもとに問題提起（下記概要）がありました。（磯部珠枝）

### 下関北高が危うい、さてこれからどうする！

平成30年開校以来、志願者の減少が続き、4年度の新入生は36名となりました。このまま推移すれば、小中学生の数からして定員割れ（4年度80名）は解消されず、遠からず分校となり、次に閉校となるのは避けられないと思います。

平成27年8月、県教委より豊北高校と響高校を統合し、新高校を設置するという再編計画（案）が示されましたが、これに対して同窓会を始め地域団体や住民も行動に移すことは殆どありませんでした。

人口減少、高齢化の続くこの町から高校が無くなるとどうなるのでしょうか。若者世帯

の流出がさらに進み、街中の活気が一段と失われ、便利の悪いJR山陰線はさらに減便となり、交通弱者は日々の買い物や通院がさらに困難となります。そして高校のない町は移住者にとって魅力のない町となり、人口減少に拍車がかかります。

人口減少問題は全国共通の課題ですが、先進地（島根県や長崎県など）では早くから危機感を抱き、県外から生徒を積極的に受け入れ（寮を整備、また魅力ある学科を作るなど）高校存続に向けて地域を挙げて熱心に取り組んでいます。

ところで文部科学省は、高校普通科の再編構想を打ち出しています。高校生の70%が普通科に在籍するが、特色が乏しく大学を目指す生徒だけではないのに画一的な教育になりがちで、特色や魅力ある教育内容に乏しいなど高校教育が地域の幅広いニーズにあっていないとして、今後特色ある学科も認める方向で検討しています。

こうしたなか、受験生を増やすには、北高の魅力を高める必要があります。北高には県下唯一の相撲部があります。また、豊北町は角島大橋など数多くの観光資源に恵まれています。早くから観光振興に力を注いで来た町ではないため、観光に関わる人材は不足しています。どうすれば北高の受験生が増えるか早急に具体策を練り、先ずは出来ることから着手して行くことが必要です。

北校夢ロードでは、これまで北高に寄り添って活動してきましたが、北高の存続が危ぶまれるなか、存続に向け具体的行動を起こす時と考えますが。

（第15期生 永富輝久）

## 議案第 1 号

### 2021 年度事業報告

#### (1) 下関北高に通学する生徒への傘貸与

滝部駅、笹尾商店、恒富邸、川崎商店、旧  
ふじ井陶園を設置場所として実施した。

(傘の数 20 本追加 累計 806 本)

#### (2) <アートの本棚>による図書の見学・貸出

笹尾商店で事業を継続したが、<アートの  
本棚 2>の公開には至らなかった。読書週  
間(2021.10.27~11.9)に下関北高図  
書室で「書棚の風景・本の貌(かお):ア  
ナログ書籍の愉しみ」を開催し、『アートの  
本棚通信』No.6 を刊行した。

#### (3) <ギャラリー・夢ロード>による美術作品 等鑑賞機会の提供

引き続きコロナ下にあったが、計画した 4  
回の展示を実施することができた。

・第 11 回展 尾湯正美『にぎめ』表紙原  
画展 2021.5.11~23 (入場者 88 名)

終了後、下関市豊北生涯学習センターに  
巡回した。

・第 12 回展 進化するしかけ絵本  
2021.11.2~28 (入場者 183 名)

終了後、梅光学院大学図書館に巡回した。

・第 13 回展 北高成果展 2022  
2022.2.15~27 (入場者 68 名)

終了後、下関市豊北生涯学習センターに  
巡回した。

・第 14 回展 美術作品を借りよう!これ  
が「アルトテーク」だ。第 2 回  
2022.3.8~20 (入場者 62 名 作品  
貸し出し 11 件 16 点)

展示会累計入場者 401 名(巡回展を除く)

#### (4) 地域の歴史・民俗・自然環境等の調査・ 研究を通じた学習支援活動

豊北の水研究第 4 年次として下関北高  
2,3 年生授業「地域探究 I・II」への協力を  
行った。週 1 回、参加生徒 12 名。フィ  
ールドワークを含め 6 月より 21 回実施。  
第 5 回粟野川流域ホテル観察会を実施し  
た。2021.5.21 (参加者 4 名。コロナ下  
にあり、下関北高生等への呼びかけは控えた。)  
豊北子ども歴史教室はコロナ下にあり、開  
催しなかった。

#### (5) 会報『北高夢ロード通信』の刊行

第 9 号(2021.7)、第 10 号(2022.3)  
を刊行した。

#### (6) 下関北高との協同

コロナ下により、文化祭への参入はできな  
かった。読書週間図書室展示、「地域探究  
I・II」は実施した(上記(2)(4)参照)。

県外在住会員を対象に『やまぐち応援寄附  
金』(ふるさと納税)の広報を仲介し、下  
関北高への支援を呼びかけた。

#### (7) 地域の関係機関・団体との連携

豊北高校同窓会等と共同で「下関北高校生入  
学祝意幕」を掲示した。(2021.3.29~5.25)  
下関市生涯学習センター、梅光学院大学図  
書館へ展示会を巡回した。

コロナ下により、滝部公民館祭りは中止と  
なり、参入できなかった。

しものせき市民活動センターの登録団体  
活動紹介パネル展に参加した。  
(2021.10.1~7(シーモール下関))

#### (8) ホームページの運用 継続して運用した。

#### (9) 総会、役員会

総会は、コロナ下にあつて、2021.4.24 締  
め切りで書面(郵送)にて実施した。役員  
会は、リモートで 3 回開催した。

(2021.4.24, 6.12, 2022.1.15)

## 議案第 3 号

### 2022 年度事業計画

下線は新規事業

- (1) 下関北高に通学する生徒への傘貸与事業を継続する。
- (2) <アートの本棚>による図書の見覧・貸出  
旧ふじ井陶園店舗に<アートの本棚 2>を設置する計画は、従来の笹尾商店<アートの本棚>と統合し<アートの本棚>(旧笹尾商店)として公開する。(年度後半)  
読書週間に下関北高図書室で<アートの本棚>展示(2022.10.27~11.9)を開催し、『アートの本棚通信』第 7 号を刊行する。
- (3) <ギャラリー夢ロード>による美術作品等の鑑賞機会の提供  
展示会を 4 回開催し、会期中にギャラリー・トーク、音楽とお話しの夕べ等を実施するほか、ギャラリーでの展示終了後、他機関へ巡回して鑑賞機会の増加を図る。  
第 15 回展 北高 地域探究授業(環境・自然)写真展  
第 16 回展 「わたしもピカソ! はがき絵大集合」展(仮称)  
第 17 回展 豊北小・中学校生徒作品展(仮称)  
第 18 回展 日本画への道:我妻千賀子作品展(仮称)
- (4) 地域の歴史・民俗・自然環境等の調査・研究を通じた学習支援活動  
豊北の水研究第 5 年次として下関北高 2、3 年生授業「地域探究 I、II」へ協力する。(週 1 回)  
第 6 回粟野川流域ホタル観察会を開催す

る。

- (5) 会報『北高夢ロード通信』の刊行  
第 11、12 号の刊行(7、3 月)

- (6) 下関北高との協同

学校の魅力を増進するための方策について、広く論議する場を設ける。

文化祭への参入のほか、既出の読書週間<アートの本棚>展示、「地域探究 I、II」を実施する。

県外在住会員を対象に『やまぐち応援寄附金』(ふるさと納税)の広報を仲介し、下関北高への支援を呼びかる。

- (7) 地域の関係機関・団体との連携

豊北高校同窓会等と連携し、下関北高校生入学祝意幕を掲示する(3 月~4 月)

下関市生涯学習センター等へ展示会を巡回する。

滝部公民館祭りに参加する。(10 月、ただし、開催状況による)

しものせき市民活動センターの登録団体活動紹介パネル展に参加する。

- (8) 豊北の公共図書館サービス改善への取り組み

正当な位置づけがなされず不便な状態に置かれている下関市豊北図書室を正常化し、サービスを改善するため、実態調査その他必要な活動を行う。

- (9) ホームページの運用

- (10) 総会、総会後の討議、理事会(年 4 回程度)

総会報告のうち、議案第 2 号 2021 年度決算報告、議案第 4 号予算案は、会員の皆様には別刷りで会報に同封いたします。

## 豊北町の話題三つ

### ■ 遇斯光庵展 2022

6月10日（金）～12日（日）

遇斯光庵は、豊北町滝部の向坊（むかいぼう）にある古い民家（元下関市立美術館副館長木本信昭氏の生家）を改修したもので、陶芸の作業場や窯もあり、地域交流の場として活用されている。県内外から10余名の陶芸作品に木工作品も加え、展示即売で賑わった。主催者である黄孫窯・森野清和氏からは、土の違いで焼き上がりがいかに異なったものになるか、といった説明もあり、興味深いものであった。

また、この庵の眼前には菖蒲畑が広がり、木本氏のご親族や地域の有志の方々のご尽力で約三千株が育てられ見事な花を咲かせていた。

### ■ 第6回善照寺寄席

7月1日（金）夕

豊北町阿川にある善照寺さんで恒例の落語会が開催された。2015年から年1回催されてきたが、コロナ禍で中断、今年は3年ぶりの開催だとか。お寺の本堂のいす席いっぱい、数十名の観客を前に、春風亭正朝（しょうちょう）師の独演会。一席目は、水茶屋の女と旦那とのだまし、だまされのおはなし——「星野屋」。二席目は、おなじみの左甚五郎が題材の「竹の水仙」。

この噺家さん、防府市の出身だそうで、枕では、今回は県内数か所をめぐるツアー。コロナの影響もまだまだで、面白おかしく語りながらもいろいろご苦労されたようである。

豊北町でほんものの落語が、それも無料で楽しめる機会は貴重であり、お寺は地域の文化拠点の一つともなっている。

### ■ こどもの情景 小田善郎の絵画せかい展

7月12日（火）～9月4日（日）

下関市立豊北歴史民俗資料館（太翔館）で開催中（入場無料）。小田氏は美祢市在住で山口県美術展大賞受賞画家。滝部を訪れた機会に立ち寄った旧滝部小学校校舎である太翔館のたすまい、とりわけ2階講堂の雰囲気魅せられた、という小田氏。今回、資料館の企画展という形で作品展が実現した。大小約40点のアクリル画に、摩訶不思議で夢に出てきそうな子供の顔が会場全体を異空間に仕立てている。展示ケースには奇異なオブジェの一群も。美術館のホワイト・キューブ（白い四角の壁）ではない旧講堂の魅力が引き出された、とも言えようか。

資料館では、従来、歴史・民俗分野に限定して企画展を行ってきたが、今回は美術作品を主体に、地域の子供行事を収録した映像や、かつて行われていた「亥の子」行事の（綱をつけて子供たちが家々を引いてまわった）石槌なども関連資料として展示されている。

本展は夏休みファミリー企画と銘打ち、関連イベントとして、「ココロ版画」「竹の水てっぽうづくり」などの行事も用意されている。

案内チラシの裏側には、太翔館を中心に町内の海水浴場、公園等を記した地図を記して周辺の周遊も呼び掛けており、おや、と思わせる。小田氏も、滝部には資料館があり、また、年に何回かくギャラリー・夢ロードでの展示会も開催されているが、周遊できるような場所の設定とそのつながりがない、と指摘しておられる。確かに、展示を見たあと、くつろいでコーヒー一杯でも飲みたいところだが、それもないのが実情。夢ロードのさらなる取り組みにも期待が寄せられているところだ。 (hh)

## 「わたしもピカソ！ はがき絵大集合」展に ご出品ください

「観覧会は観るだけ？ いえ、観る人の参加がなければなりません。」

「少しだけ、思いのつばさを拡げて、参加してみませんか？」

人は、知恵がつくにつれて、周囲の目が気になり、臆病になってしまいます。幼い子が、おおらかに絵を描いたり、字を書いたりする、あの頃にちょっと戻ってみませんか？

<ギャラリー夢ロード>では、はがきサイズの作品を壁面いっぱい展示したいと思っています。まるでオモチャ箱をひっくり返したようになるでしょう。きっと一度参加するとやみつきになりますよ。

会員のみなさんのほか、地域の児童生徒、一般社会人にも呼び掛けています。

募集概要は下記のとおり。

### ・締め切り：8月末日 下記宛に

〒759-5511 下関市豊北町滝部 218-5

北高夢ロード実行委員会

または、<アートの本棚> (旧笹尾商店 滝部 838-5) の郵便受けに直接投函

・サイズ 100×148mm (官製はがきのサイズ 縦横自由)

・紙質 官製はがきまたはこれと同等の厚みをもつ私製はがき (カレンダーの裏紙などでも可)

・内容・方法：鉛筆、クレヨン・クレパス画、水彩画、油絵、写真、デザイン、その他による表現 (内容・方法は自由 公序良俗に反しないもの) 裏面に住所氏名 年齢) を記入 (ただし、展示の際、表示はいたしません)

・出品作品は返却しません。

・展示予定。

2022年10月11日(火)～23日(日)  
但し、17日(月)休館 13:00～18:00  
但し、金曜日は19:00まで **入場無料**  
詳細は、9月にチラシでご案内します。

### 短信

■本年も、3月28日(月)～4月25日(月)、下関北高新入生歓迎祝意幕を同窓会有志などと協力して滝部駅、豊北総合支所などに掲示しました。

■この春北高を卒業した相撲部の谷本誠一郎君、境川部屋に入門し、5月場所初土俵は序の口で4勝3敗。名古屋場所では、序二段に進んで7月13日現在、2勝0敗と健闘中。四股名は大錦龍です。(同封の『下関北高だより』(令和4年6月20日発行)参照)

■高校野球山口県大会で下関北高は初戦小野田高校に6対3で快勝しました。昨年は、山口農高西市分校との連合チームでの出場を余儀なくされていましたが、今年は単独での出場。更なる活躍が期待されます。

### 会費納入のお願い

2022年度会費を未納の方は、同封の振替用紙でお振り込み願います。正会員：2,000円

2021年度も未納の方は、正会員：4,000円  
郵便振替

口座記号：01350-1 口座番号：106942

加入者名：北高夢ロード実行委員会

### 北高夢ロード通信 第11号 (年2回刊)

2022年7月20日発行

編集：会報編集委員会 (城石・古田・村上・戸田)

発行：北高夢ロード実行委員会

〒759-5511 山口県下関市豊北町滝部 218-5

Tel：083-782-0084

ホームページ：http://yumeroad.org

Email：kitakoyumeroad@gmail.com